

機関砲第四大隊史資料

昭和二十二年三月二十五日
第一軍務部

部隊履歷、概要

昭和十九年七月二十三日

母島島砲兵隊隊於機間砲二回大原滿茂見當

七月二十五日

蘇門答臘

八月十日

那霸港上陸

八月十六日

中頭郡北谷村屋宜附近於中飛行場整備

八月十七日

瀨底錫地附近於松田地境

十月十日

南西空襲隊參加 同台清平艦隊戰協力

昭和二十年一月三日

南西空襲隊斗二參加

一月三十一日

同

二月一日

同

五月一日

那霸港於敵對峙上對空戰斗

五月二十八日

摩文仁線轉進

五月二十八日

摩文仁附近戰斗參加

五月二十八日

一編 成

大隊長	大尉	中田 英智平
指揮隊長	中尉	祖父江 金次郎
第一中隊長	中尉	森 節雄
第二中隊長	中尉	森 春市
第三中隊長	中尉	市橋 進

二昭和十九年十月五日迄の態勢

大隊の命令に基き、第三中隊の野里に配置し主力を以て、瀬底部地、東京高地、陣地を占領し、船田掩護を任す

三昭和十九年十月十日迄の態勢
大隊の命令に基き、那霸海軍基地掩護、タマ垣花東北高地、移駐対空戦斗室、陣地構築を以て實施せり

四戦闘經過の概要

昭和十九年十月十日

早朝、敵機約一四機未襲、空襲目標へ飛行場を流し施設船田亭を指向せし敵は南方輸送路を遮断し企圖せり
敵機子機約四機、機長油中、滑水母艦輸送船に、其他五機、目標を敵次へ直り、攻撃撃つを以て未襲を敵機は全五分ヲ集中ス

戦果

撃墜 一 撃破 十五

昭和十九年一月二日

早朝、敵機約三十機、空襲目標を主として飛行場を指向せり

戦果

撃墜 二 撃破 五

昭和三十年一月二十一日(二十一日)

早朝、敵艦載機大編隊ヲ未離ス

空襲目標(主トシテ飛行場)迄飛来セシメ指向セシ

撃墜 一

撃墜 二 撃破 七

昭和三十年三月一日

早朝、敵艦載機約九〇機未離ス

空襲目標(飛行場)迄飛来セシメ、外圍警戒指向セシ

敵ハ我ノ陣地設備ヲ破壊ス企图トシ

撃墜 一

撃墜 一 撃破 二

我カ方損害

戦死 二 更傷 三

昭和三十年三月二十三日

早朝、敵艦載機約九〇機未離ス

敵ハ南西諸島運攻作戦ヲ企畫シテ

撃墜 一

撃墜 二 撃破 一

昭和三十年三月二十四日

早朝、大編隊群未離ス

全南西諸島対シ甲種戦備ノ大司令ハ降下セシ大隊ハ既備

計畫ニ基キ夜間行動ヲ開始シ第一中隊ヲ具志頭附近ニ

第二中隊ニテ小隊(同野少尉以下四名)ヲ未離附近ニ

第三中隊ノ一部、第三中隊ハ以然垣花ニ於テ対地上戦ニ既

備ヲ變更シ敵備ヲ強化ス

昭和三十年三月二十五日

敵ハ慶良間列島ニ上陸、空襲、艦砲射撃等々愈々熾烈ニ

昭和二十年四月一日

敵機約五〇機主力ヲ以テ北中飛行場ヲ一部ヲ以テ首里
嶺ヲ取崩しテ目標トス

ハハハ舟艇ハ上陸準備ヲ開始シハ九ハ北飛行場(桑江)
間上陸ス

上陸兵力 70 960 MID

昭和二十年四月二日

初上陸

昭和二十年四月三日

初上陸 ニハハ使者天間東西ノ線ニ進出ス

昭和二十年四月十日

軍ハ第一回ノ總攻撃ヲ開始ス

大隊ハ新上陸五組準備時期ニシテハ

昭和二十年五月八日(十三)向

軍命令ニ基テ対空戦士ヲ移更ス

大隊將兵益々志氣旺盛ニシテ既備ヲ強化ス

戦果

撃墜 六 撃破 十五

昭和二十年五月二十五日

南島赤崎道ニ進入セル戦車ヲ撃滅シテ第一中隊、第二中隊、
各一隊ヲ柘峯ニ進出セル

戦果

戦車擱留 二 人員殺傷 四〇〇

昭和二十年五月三十一日

大隊ノ軍命令ニ基テ米嶺附近ニ轉進ス

本部、真壁、第一中隊長志願ニ、第三中隊主力ハ小波ハ第二中
隊一々小隊(中川少尉以下三〇名)ヲ赤矢第三三三隊隊ニ既属

昭和三十年六月十一日
第三中隊ヲ真原平野ニ駐留セシメ蓋シ陣地ヲ強化セシム

情報ニ依リハ爾古北方高地ノ中川小隊ハ敵軍ト交戦ヲ受ケ
全員玉碎ス。戦果不明

昭和三十年六月十八日

本部ハ敵ノ包圍ヲ受ケ全員玉碎ス其ノ戦果不明

昭和三十年六月二十日

敵ノ摩文仁、新垣方面ニ對シテ交戦ヲハシタル戦烈ハ極ム

第三中隊陣地ハ敵軍ト交戦ヲ受ケ全員玉碎ス。戦果不明

昭和三十年六月二十一日

大隊ハ第三中隊残存兵力ヲ以テ敵次ニ亙リ真原平野大仁附近

敵陣ニ對シテ敢行シ玉碎ス

昭和三十年六月二十五日
第三中隊ヲ以テ判明セザル戦果ヲ示シ

飛行機撃墜 一機

飛行機撃墜

五二

人員殺傷

一五〇〇

敵軍掘挂炎上

一〇

集積所破壊炎上

五

以上